

女性の発明と創造が未来をつくる

～ 女性活躍推進と男女共同参画社会の実現に向けて～



一般社団法人 婦人発明家協会
JAPAN WOMEN INVENTORS ASSOCIATION

婦人発明家協会のご紹介



会長を務める福島理恵子は、東芝の研究開発センターで 22 年間開発に携わり、2010 年に3D ディスプレイの特許で公益社団法人発明協会が主催する全国発明表彰で 21 世紀発明賞を受賞しました。2017 年 7 月に東芝を退職し、現在まで東京都議会議員を務めております。

婦人発明家協会は 1953 年創立、70 年を超える歴史を持ちます。婦人の発明に関する事業を行い、婦人の発明及び考案を奨励するとともに発明考案をとおして国際親善を図り、もって、わが国の科学技術の振興、男女共同参画社会の推進に寄与することを目的とします。婦人の発明の保護及び育成、普及、啓発を目的とする表彰事業を行います。

1953 年 公益社団法人発明協会主催「生活を豊かにする女性の発明工夫展」の受賞者等による任意団体として「日本婦人発明協会」発足

1967 年 第 1 回「なるほど展」を開催
以後毎年継続して開催

1969 年 「婦人発明家協会」と改称、現在に至る

1970 年 「社団法人の認可」おける
機関紙「なるほど」創刊

1977 年 第 10 回「なるほど展」開催

1987 年 第 20 回「なるほど展」開催

1988 年 創立 35 周年記念行事挙行

1993 年 創立 40 周年記念行事挙行

1997 年 第 30 回「なるほど展」開催

2003 年 創立 50 周年記念行事挙行

2007 年 第 40 回「なるほど展」開催

2013 年 創立 60 周年記念行事挙行

2014 年 一般社団法人に移行

2017 年 第 50 回「なるほど展」開催

2022 年 コロナ禍によりプレミアムなるほど展開催

2024 年 創立 70 周年記念第 55 回「なるほど展」開催

2025 年 第56回「なるほど展」開催

「なるほど展」の歴史と女性皇族



第 20 回なるほど展



第 41 回なるほど展



第 42 回なるほど展



第 54 回なるほど展



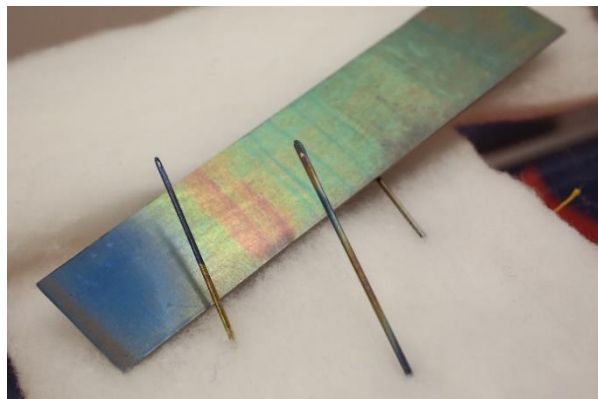
第55回なるほど展



第 56 回なるほど展

「なるほど展」は 2025 年 3 月に第 56 回を迎えました。長い歴史の中で女性皇族のお成りを賜ることが多く、NHK をはじめ放送各局と新聞各社が報道しています。近年は秋篠宮佳子内親王殿下に 3 年連続のお成りを賜り、そのご様子がテレビ放送されたこともあって、展示会場はたいへん賑わいました。

「なるほど展」の作品と後援



第 55 回文部科学大臣賞
チタンを熱処理して虹色にした素材で作った針



第 55 回婦人発明家協会会長賞
がま口が内蔵する財布



第 55 回特許庁長官奨励賞
3 通りに使えるボウル



第 55 回東京都知事奨励賞
車イスのブレーキ補助具

「なるほど展」の審査は外部審査委員によって公正に行われます。作品は生活の中の不便さを解消する発明品が多く集まります。国や自治体などそうそうたる団体にご後援をいただいております。

【後援】

文部科学省、厚生労働省、特許庁、東京都、(公財)発明協会、
日本弁理士会、日本放送協会、日本商工会議所、(公財)日本編物手芸協会、
日刊工業新聞社、東京都商工会連合会、(公社)全国工業高等学校長協会



第 55 回受賞者と後援団体関係の皆様

新たな取り組みと今後の展開

シンポジウムのイメージ



「なるほど展」は進む女性の社会進出に対応し、2025 年より新たな取り組みとして、「**企業で活躍する女性の発明・工夫を対象とした表彰**」をスタートします。企業で働く女性の研究・開発者の社会的評価の向上を図り、ひいては日本の産業振興に寄与する取り組みです。また「シンポジウム」を開催し、女性の現場の声を集めて、男女共同参画社会の課題を顕在化し、多様性のある職場環境づくりに寄与します。

女性活躍の推進と男女共同参画社会の実現へ

○女性の社会的評価の向上と次世代の育成

女性の研究・開発を顕彰し、その社会的評価を向上させ、次世代の意欲を育てて、産業に資する。

○現場の声の可視化と課題の顕在化

働く女性たちの実体験をシンポジウム等で共有し、男女共同参画社会の課題を社会に提示する。

○ライフスタイルに合った職場環境づくりへの寄与

柔軟な働き方や両立支援の必要性を伝え、誰もが活躍しやすい職場環境づくりに寄与する。

○産業や社会の多様化と活性化

女性ならではの発想で新たな製品やサービスが生まれ、産業や社会の多様化と活性化に貢献する。